

備前市事務事業評価表

事務事業名	特色ある学校づくり推進事業	コード	03-01-02-13
		担当課・係	学校教育課 指導係
		担当者	磯本宏幸
事業実施期間	平成14年～	電話	64-1840
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり	
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり	
	小項目(施策)	小・中学校	

事業について	
目的 (何のために)	学校、園における総合的な学習の時間や生活科などの創意ある取組並びに地域を知り、愛する心を育成する教育活動を支援することを通して、特色ある教育活動の推進を図る。
対象 (誰・何を対象に)	市内幼、小・中学校、高等学校
内容	・交流学习や体験学習に必要な教材、講師謝礼、交通費等の支出に係る補助金の支出。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
特色ある学校づくり補助金申請校数	30 校	30 校	
ふるさと学習支援事業補助金申請校数	15 校	15 校	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	4,900	間接補助金等		直接事業費	6,494	間接補助金等		直接事業費		間接補助金等	
	人件費	1,785	受益者負担		人件費	1,010	受益者負担		人件費		受益者負担	
	市債			市債				市債				
合計	6,685	一般財源等	6,685	合計	7,504	一般財源等	7,504	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.20 人	0.10 人	
結果指標名	特色ある学校づくり事業実施校数	特色ある学校づくり事業実施校数	
結果指標量	30	30	
単位	校	校	
対前年比	—	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	4,392,500 円	4,335,000 円	
単位当たりコスト	146,417 円	144,500 円	
結果指標名	ふるさと学習支援事業実施校数	ふるさと学習支援事業実施校数	
結果指標量	15	15	
単位	校	校	
対前年比	—	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	2,292,500 円	2,074,000 円	
単位当たりコスト	152,833 円	138,267 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	各学校園が特色ある学校づくりを推進し、課題解決のための取組を工夫することができる。		
成果指標名	事業実施率	式又は説明	事業実施延べ校数 / 対象延べ校数 × 100
	17年度	18年度	
成果指標量	90	90	
対前年比	—	100.00%	0.00%
到達目標値	95	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等	妥当性評価 <A-E>	A
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	幼児、児童生徒が直接体験や交流体験を通して学習の必要性は高まっており、そのために必要な経費を補助する本事業は学校教育の推進にとって重要である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である			
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 <A-E>	B
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	体験学習や交流学習のために学校園が支出することのできる予算はそれほど多くなく、謝金や交通費などの点で可能な限り効率化を図るため、学校園とも折衝をしながら補助金額を決定している。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の見直し・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価 <A-E>		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	学校のニーズに応じた補助事業であることから学校の課題により成果は上下するが、今後、両細事業の統合も含めて、事業の見直しを行ってほしい。
	市民参画度			

平成19年度の状況			
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	この事業がない場合は、学校の配分予算による支出が難しいことから、各校の取組の縮小が保護者負担の増大以外に方法がない。課題解決に必要な補助を行う本事業の継続は必要である。
目標値	結果指標量 29	結果指標量	17
	成果指標量 92		

総合評価		
新たな学習活動を計画するにはそのための人的・物的資源が必要となってくる。しかし、その学習活動が幼児、児童生徒にとって有効であろうと予想されても、資源が確保されなければ、実施することが難しい。本事業は、十分とは言えないがそのために補助を行う事業であり、学校園にとっての意義は大きいと考える。	評価区分 <A-E>	B

平成20年度以降の方向性		
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	細事業である特色ある学校づくり補助事業ふるさと学習支援事業の統合を検討する。	平成20年度	統合しある程度の補助が可能になるようにすることで、よりダイナミックな活動が展開できる。